

休館中の主な活動と業務について

1. 展示

休館中であることを生かして、当館所蔵品のうち主要なものについて、他館で展示する展覧会を計画し、開催予定館と打合せ・調整を行っているところです。国宝・重要文化財には展示期間の制限があるため、1年1会場の予定です。開催館と共同して企画・梱包・輸送・展示等を行います。

また、令和6年度以降に開催する複数の展覧会について、企画・調査・出品交渉等の準備を行います。

なお、震災及び資料レスキューのパネル展示等については、休館中も引き続き他施設で実施する予定です。

2. 資料の保管

一部の資料については、休館に入ってから他館に移送し、保管していただく予定です。大部分の資料については、引き続き収蔵庫で保管しますが、収蔵庫に関わる改修が行われる期間は、温湿度の管理できる展示室に移して保管します。移動に伴う資料の整理・点検・梱包・移動及び展示室での管理を学芸員が行います。

なお、資料貸出や資料閲覧については、資料を梱包することや梱包・閲覧場所を確保できないこと、及び改修時に外部の方を館内に入れる危険等を勘案して、休館中は停止します。

3. 写真の貸出・掲載許可

休館中も引き続き行います。

4. 教育・普及

(1) 講座

休館中も引き続き他施設で以下の講座を実施します。

- ①東北工業大学と連携した「まちなか博物館」講座（東北工業大学一番町ロビー）
- ②市民図書館と連携した、学芸員と司書とのコラボレーションによる講座（せんだいメディアテーク1階オープンスクエア）
- ③外部団体からの依頼による出張講座（市民センター等）
- ④その他市史講座等、自主企画による講座（他施設）

(2) 出前授業

学校等からの依頼に応じて職員が出張して行います。休館中は出前授業の回数を増やす予定です。

- ①「伊達政宗と仙台」や「もんきりがたで遊ぼう」等、10種余りの学習プログラムによる出前授業
- ②小中学校における職業講話や、大学における社会教育施設学習への出張講話

(3) 出前イベント・ワークショップ

各種団体からの依頼や他機関との連携により行います。

①PTA フェスティバルへの参加

②SMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）のイベントへの参加や、SMMA 参加館とのクロスイベントの実施

③歴ネット（仙台歴史ミュージアムネットワーク）の事務局として運営を担当し、また共同イベントへ参加

（４）情報発信

ホームページやツイッター及び「博物館だより」等による情報発信は引き続き行います。

①コロナ禍の中で始めた、インターネットによる動画配信や昔のおもちゃ作り等の紹介

②これまで展示の案内を主としてきた「博物館だより」は、内容を変更して引き続き情報発信の媒体として活用

5. 仙台市史活用推進事業

市史講座や図書館との連携講座は前掲のとおりです。そのほかの休館中の事業は以下の通りです。

（１）『市史せんだい』の編集・発行及び『「仙台市史」活用資料集』の増刷

（２）仙台商工会議所機関紙『飛翔』での歴史記事連載

（３）伊達政宗文書等の資料調査

（４）市史編さんに係る収集資料の整理及び撮影

（５）収集資料のうち公文書等の公文書館への移管

6. ボランティア活動及び友の会活動の支援

生涯学習施設として、解説ボランティア（三の丸会）や、博物館友の会の自主的な活動は必要に応じて支援を続けていきます。具体的には、研修会への講師の派遣や運営への助言・支援等を想定しています。

7. 改修工事の管理

２年半にわたる改修工事について、建設局営繕課・設備課等とともにその進捗や内容について協議しつつ管理を行います。また工事に伴う諸部署・諸機関との連絡調整を行います。展示室や空調については、文化庁と協議しつつ進めます。

8. その他

仙台市博物館が開館してからの60年のあゆみを振り返る冊子を作成する予定です。